

V 国際化に対応した産業の振興 及び基盤整備

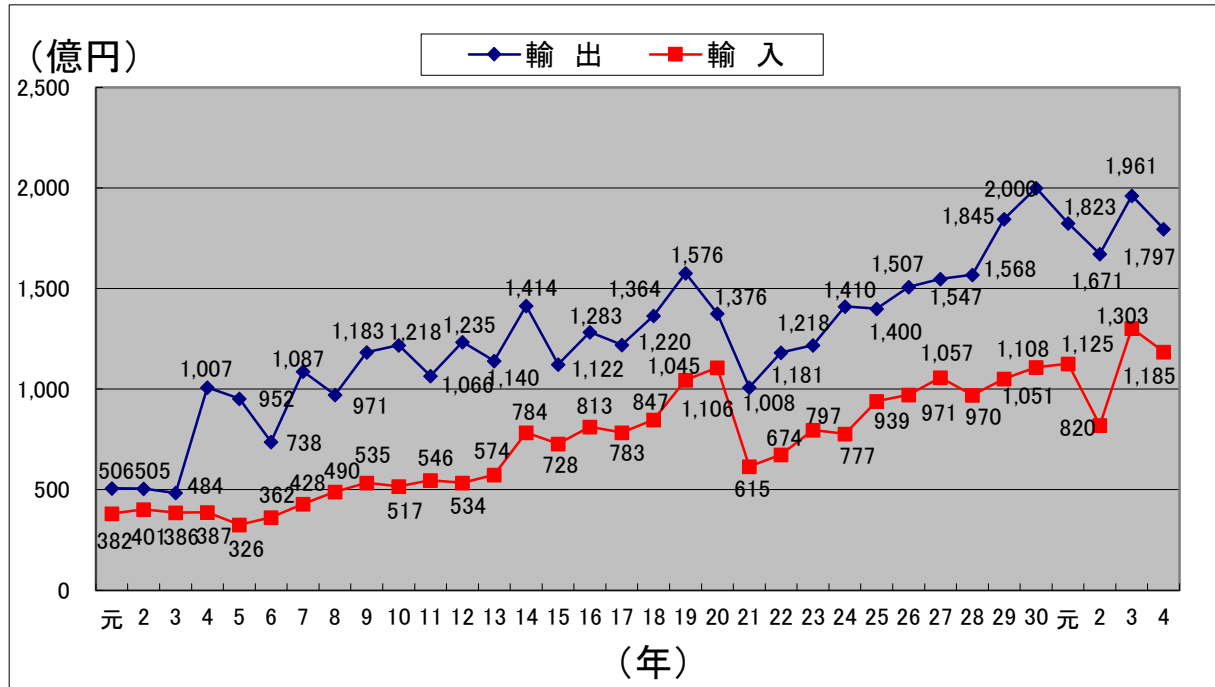
1	国際経済交流	
	(1) 宮崎県の輸出入の状況	8 1
	(2) 宮崎県海外交流駐在員	8 4
2	国際観光・コンベンション	
	(1) 国際観光	8 5
	(2) 国際コンベンション	8 5
	県内の外国人宿泊客数の推移（過去10年）	8 6
3	交通基盤の整備	
	(1) 空港の国際化の現状	8 7
	(2) 港湾の国際化の現状	8 9
	外航商船入港船舶数の推移	8 9
	外貨貨物の取扱状況の推移	9 0
	国際海上コンテナ取扱数量の推移	9 0

1 国際経済交流

(1) 宮崎県の輸出入の状況

令和4年の本県の輸出入総額は2,982億407万円で、前年比8.7%(282億5,728万円)の減となりました。

このうち、輸出総額は1,796億6,113万円で、前年比8.4%(164億8,923万円)の減で、輸入総額は1,185億4,293万円で、前年比9%(117億6,805万円)の減となりました。



(単位: 千円、%)

年 区分	輸 出		輸 入		貿 易 収 支		貿 易 額		円/ドル レート (円)
	金 額	前年比	金 額	前年比	金 額	前年比	金 額	前年比	
平 14	141,426,278	124.0%	78,366,041	136.6%	63,060,237	111.3%	219,792,319	128.3%	119.37
15	112,235,179	79.4%	72,825,202	92.9%	39,409,977	62.5%	185,060,381	84.2%	106.97
16	128,285,796	114.3%	81,284,957	111.6%	47,000,839	119.3%	209,570,753	113.2%	103.78
17	121,980,256	95.1%	78,304,305	96.3%	43,675,951	92.9%	200,284,561	95.6%	117.48
18	136,447,141	111.9%	84,711,468	108.2%	51,735,673	118.5%	221,158,609	110.4%	116.29
19	157,591,357	115.5%	104,468,617	123.3%	53,122,740	102.7%	262,059,974	118.5%	117.78
20	137,561,933	87.3%	110,622,061	105.9%	26,939,872	50.7%	248,183,994	94.7%	104.23
21	100,784,644	73.3%	61,459,504	55.6%	39,325,140	146.0%	162,244,148	65.4%	93.52
22	118,099,682	117.2%	67,435,523	109.7%	50,664,159	128.8%	185,535,205	114.4%	88.09
23	121,783,767	103.1%	79,683,416	118.2%	42,100,351	83.1%	201,467,183	108.6%	79.97
24	141,022,561	115.8%	77,718,878	97.5%	63,303,683	150.4%	218,741,439	108.6%	78.82
25	140,022,915	99.3%	93,908,627	120.8%	46,114,288	72.8%	233,931,542	106.9%	96.65
26	150,749,410	107.7%	97,093,286	103.4%	53,656,124	116.4%	247,842,696	105.9%	104.85
27	154,699,503	102.6%	105,742,825	108.9%	48,956,678	91.2%	260,442,328	105.1%	120.05
28	156,777,835	101.3%	96,962,400	91.7%	59,815,435	122.2%	253,740,235	97.4%	107.84
29	184,549,531	117.7%	105,143,421	108.4%	79,406,110	132.8%	289,692,952	114.2%	111.19
30	200,020,184	108.4%	110,818,764	105.4%	89,201,420	112.3%	310,838,948	107.3%	111.19
令和元	182,412,980	91.2%	112,553,105	101.6%	69,834,945	78.3%	294,941,156	94.9%	108.05
2	167,128,235	91.6%	81,961,134	72.8%	85,167,101	122.0%	249,089,369	84.5%	105.82
3	196,150,368	117.4%	130,310,993	159.0%	65,839,375	77.3%	326,461,361	131.1%	108.80
4	179,661,138	91.6%	118,542,938	91.0%	61,118,200	92.8%	298,204,076	91.3%	130.43

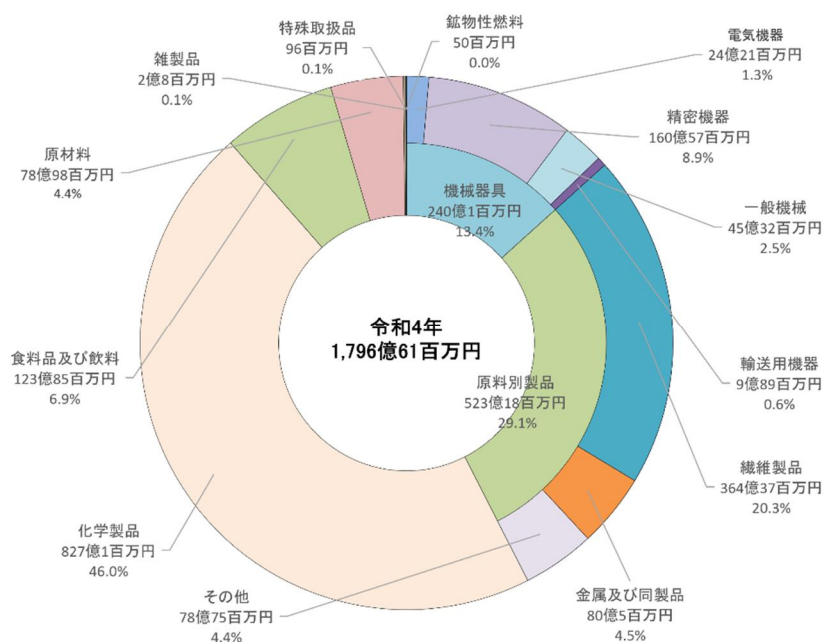
(「令和4年宮崎県の貿易」より)

① 品目別内訳

◎ 輸出額

輸出額を品目別にみると、化学製品が 827 億 1 百万円で最も多く、全体の 46%を占めています。

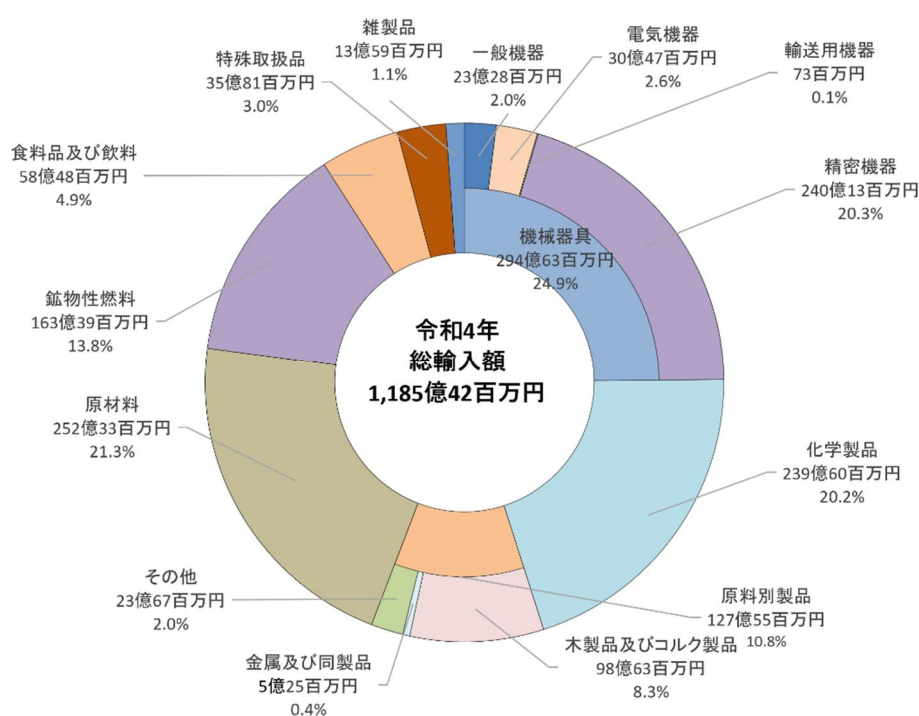
次いで、原料別製品が 523 億 18 百万円（構成比 29.1%）、機械器具が 240 億 1 百万円（同 13.4%）の順となっています。



◎ 輸入額

輸入額を品目別にみると、機械器具が 294 億 63 百万円で最も多く、全体の 24.9%を占めています。

次いで、原材料が 252 億 33 百万（構成比 21.3%）、化学製品が 239 億 60 百万円（同 20.2%）の順となっています。

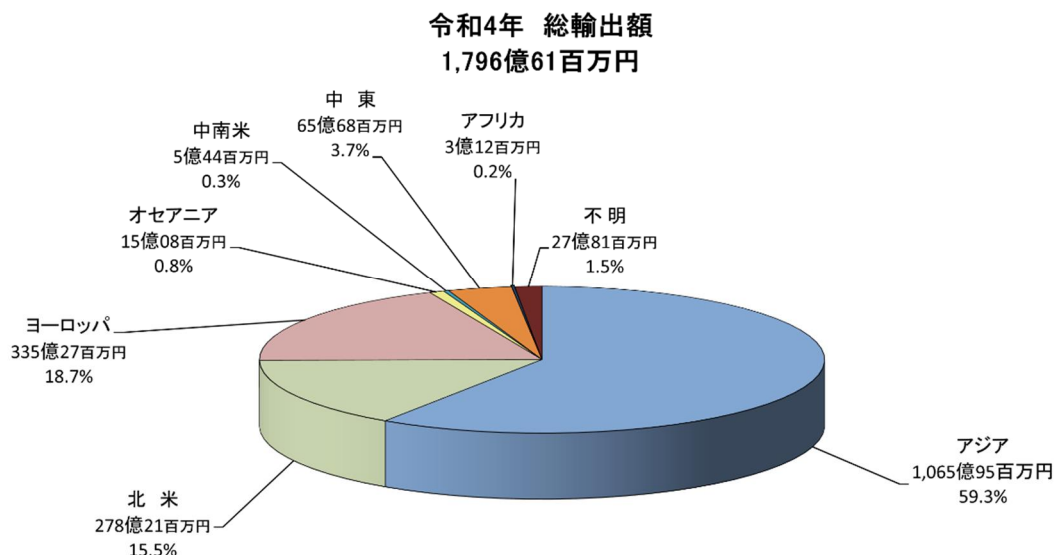


② 地域別内訳

◎ 輸出額

輸出額を仕向先の地域別にみると、アジアが1,065億95百万円で最も多く、全体の59.3%を占めています。次いで、ヨーロッパが335億27百万円（構成比18.7%）、北米が278億21百万円（同15.5%）の順となっています。

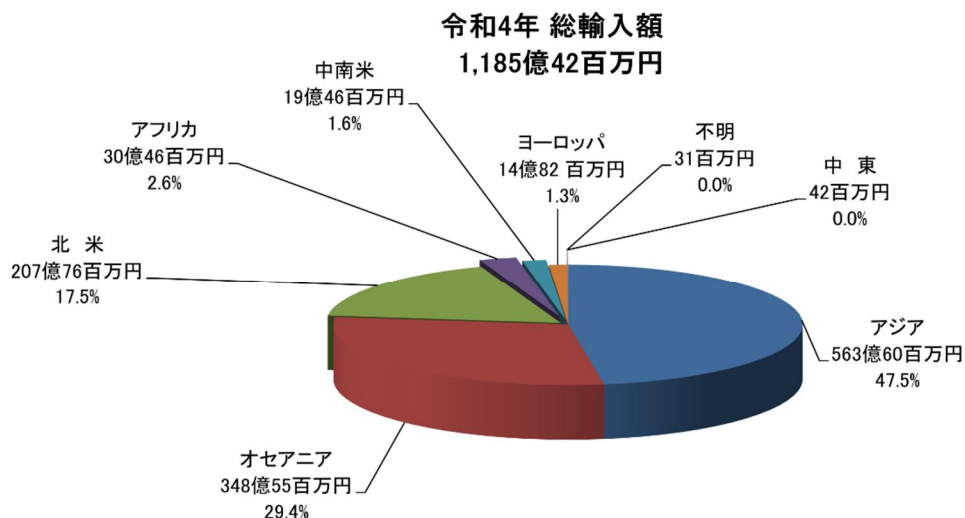
国・地域別では、中国が354億46百万円（構成比19.7%）、アメリカが275億17百万円（同15.3%）、ベルギーが185億12百万円（同10.3%）、タイが147億59百万円（同8.2%）の順となっています。



◎ 輸入額

輸入額を仕向先の地域別にみると、アジアが563億60百万円で最も多く、全体の47.5%を占めています。次いで、オセアニアが348億55百万円（構成比29.4%）、北米が207億76百万円（同17.5%）の順となっています。

国・地域別では、アメリカが198億52百万円（構成比16.7%）、オーストラリアが182億16百万円（同15.4%）、タイが154億79百万円（同13.1%）、中国が146億87百万円（同12.4%）の順となっています。



【連絡先】

宮崎県国際・経済交流課

TEL (0985) 26-7113

(2) 宮崎県海外交流駐在員

宮崎県では、アジアの経済の拠点である香港、中国（上海）及び台湾（台北）に海外交流駐在員を設置し、県内の皆さんに各地の社会・経済等に関する情報を提供するほか、県内企業の皆さんからの要請により、貿易や投資等に関する現地の企業、商品、マーケット等の調査や商用で現地に渡航される際の連絡調整等の支援を行います。

また、本県への観光客の誘致等の経済をはじめとする交流を促進するための業務を行います。

◎ 主な業務

- ① 現地及び周辺諸国の一般社会・経済情報の収集・提供
 - ② 県内企業の貿易を支援するための現地の企業や商品情報の収集・提供
 - ③ 県内企業が海外に投資や工場進出する際の各種情報の収集・提供
 - ④ 県内企業や団体が商用等で現地を訪問する際の連絡調整
 - ⑤ 本県観光のPRや現地で開催される宮崎県関係のイベントへの支援
 - ⑥ 県内業界への現地の観光・MICE市場の情報収集・提供
 - ⑦ 現地マスコミ・旅行業関係者に対する県内観光施設・ホテルなどに関する情報提供（広報）活動
 - ⑧ 本県を訪れる観光客に対する旅行コンサルティング活動
- ※ 台湾駐在員は⑤～⑧のみ行います。

◎ ご利用にあたって

- ・海外交流駐在員は個別の商談や通訳・翻訳等には応じかねます。
- ・海外交流駐在員の利用は原則として無料ですが、依頼の内容により、現地での同行のための交通費等についてご負担いただく場合があります。
- ・海外交流駐在員の利用に関連して発生した損害等については、宮崎県及び委託先である（公社）宮崎県物産貿易振興センター、（公財）宮崎県観光協会は一切の責任を負いません。

◎ お問い合わせ先

● 香港駐在員

公益社団法人 宮崎県物産貿易振興センター 総務貿易課
住 所：〒880-0804
宮崎市宮田町1-6 県庁7号館1階
電 話：0985-38-9351 FAX：0985-38-9354
ホームページURL：<http://www.m-tokusan.or.jp>

● 上海駐在員

宮崎県商工観光労働部観光経済交流局国際・経済交流課 物産・海外展開担当
住 所：〒880-8501
宮崎市橘通東2-10-1 県庁8号館
電 話：0985-26-7113 FAX：0985-26-7327

● 台湾駐在員

公益財団法人 宮崎県観光協会
住 所：〒880-0811
宮崎市錦町1番10号 宮崎グリーンスフィア壱番館（KITENビル）3階
電 話：0985-26-6100 FAX：0985-26-6123
ホームページURL：<http://www.kanko-miyazaki.jp>

2 国際観光・コンベンション

(1) 国際観光

① 外国人観光客の入り込み状況

令和5年の外国人延宿泊客数は、前年比416%増の113,242人でした。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて大幅に減少した外国人観光客は、回復傾向にありますが、コロナ禍前の令和元年比で約45%にとどまっています。

宿泊客の国籍別内訳としては、韓国が38,680人で全体の34.2%、次いで台湾が12,556人で全体の11.1%となっています。

※ 「県内の外国人宿泊客数の推移」(次頁)参照

② 国際観光の取組み

各国の経済状況や旅行事情、本県に対する認知度等を踏まえながら、韓国や台湾、香港、中国などの東アジアに加え、ASEAN、欧米豪地域からの観光客の誘致促進に取り組んでいます。

◎ 主な取組

- (a) SNSやWEBを活用したデジタルプロモーション
- (b) 航空会社や旅行エージェントとの共同PR
- (c) 海外事務所による現地での情報発信
- (d) メディアやインフルエンサーを活用した情報発信
- (e) 外国人観光客受入環境の整備

また、誘致宣伝には、九州観光機構や国とも十分に連携を図り、効果的な事業の実施に努めています。

(2) 国際コンベンション

① コンベンション誘致の取組み

充実したコンベンション・リゾート施設や恵まれたアフターコンベンション環境を活かし、県と(公財)宮崎県観光協会が連携して、国内外のコンベンション誘致を図っています。

② 国際会議開催実績(過去10年)

年 度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
開催件数	12	16	11	14	30	20	0	0	11	9
延参加者数	18,827	7,810	6,077	10,895	12,182	4,250	0	0	4,926	5,117

((公財)宮崎県観光協会調)

【連絡先】

宮崎県観光推進課
(公財)宮崎県観光協会

TEL (0985)26-7530
TEL (0985)26-6100

◎ 県内外国人の宿泊客数の推移（過去１０年）

（単位：人泊）

年次 国 籍		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
北米	アメリカ合衆国	2,872	1,867	2,397	3,305	3,645	3,730	1,359	1,330	1,343	3,541
	カナダ	603	185	263	759	459	615	105	16	74	515
中南米		380	100	233	687	29	109	136	5	43	164
欧州	イギリス	204	344	486	1,347	917	3,121	337	839	185	694
	フランス	171	249	233	722	1,045	735	144	366	126	549
	ドイツ	157	402	535	544	856	760	159	1,428	156	482
	オランダ	269	19	37	190	176	135	11	1	3	74
	スイス	63	10	77	200	124	167	23	2	24	137
	旧ソビエト連邦	52	0	110	275	109	103	18	9	4	3,987
	その他	585	103	661	917	378	517	159	17	241	497
アジア	中国	3,749	5,452	8,442	12,143	9,560	13,489	2,135	364	1,122	12,240
	香港	10,965	30,999	51,785	57,645	54,583	48,730	6,202	14	1,013	4,155
	台湾	31,922	41,561	39,132	51,530	45,797	44,297	3,833	37	795	12,556
	韓国	65,167	65,570	61,097	72,468	98,113	76,025	13,256	186	3,508	38,680
	マレーシア	220	47	118	204	481	1,042	107	4	84	139
	シンガポール	823	1,501	1,041	1,195	1,935	2,461	168	13	452	113
	タイ	709	422	954	1,245	965	1,504	162	32	372	1,351
	インド	330	23	126	130	270	132	52	48	73	254
	フィリピン	116	64	74	110	196	267	31	86	36	616
	インドネシア	78	3	136	249	467	281	196	37	147	3,758
	その他	241	278	673	336	1,383	1,860	483	498	1,370	410
オセアニア	オーストラリア	395	169	520	739	733	1,191	116	16	102	805
	その他	19	10	45	436	181	168	38	12	37	48
アフリカ		0	1	79	216	40	22	58	1	12	19
不明		20,889	32,557	20,132	18,322	52,073	47,921	11,701	6,387	10,645	27,458
計		140,979	181,936	189,386	225,914	274,515	249,382	40,989	11,748	21,967	113,242

（注１）宮崎県内各市町村調べ

（注２）平成26年は373店舗、平成27年は405店舗、平成28年は390店舗、平成29年は357店舗、平成30年は378店舗、令和元年は370店舗、令和2年は402店舗、令和3年は380店舗、令和4年は409店舗、令和5年は391店舗における延べ宿泊者数。

3 交通基盤の整備

(1) 空港の国際化の現状

宮崎空港は、世界に開かれた本県の空の玄関口として、多くの県民が直接海外へ旅立つとともに、海外から多数の観光客が本県を訪れるなど、本県の地域間交流の基盤として重要な役割を果たしています。

県では、本県の国際化の進展、諸産業の振興及び地域振興を図るため、市町村や民間団体・企業等が参加する「宮崎空港振興協議会」を設立し、国際定期便の利用促進や新規路線の誘致、海外政府機関、航空会社等への要望活動などに取り組んでいます。

① 宮崎空港の国際化のあゆみ

- ・昭和63年 3月 初めての国際チャーター便（宮崎→香港）運航
- ・平成11年 2月 国際線専用施設供用開始
- ・平成13年 4月 宮崎～ソウル国際定期便（アジアナ航空）就航
- ・平成14年 4月 税関、検疫の空港出張所開設
- ・平成20年 6月 宮崎～台北国際定期便（エバー航空）就航
- ・平成21年10月 エバー航空運休
- ・平成22年 1月 宮崎～台北国際定期便（チャイナエアライン）就航
- ・平成27年 3月 宮崎～香港国際定期便（香港航空）就航
- ・平成29年10月 国際線専用PBB（旅客搭乗橋）の新設
- ・平成29年12月 LCCによる宮崎～ソウル国際定期便（イースター航空）就航
- ・平成30年 3月 国際線専用出発保安検査場及びボディスキャナーの設置
- ・平成30年10月 宮崎～香港国際定期便（香港航空）運休
- ・令和 2年 2月 コロナにより宮崎～台北国際定期便（チャイナエアライン）運休
- ・令和 2年 3月 コロナによりLCC宮崎～ソウル国際定期便（イースター航空）運休
- ・令和 2年 3月 コロナにより宮崎～ソウル国際定期便（アジアナ航空）運休
- ・令和 5年 9月 宮崎～ソウル国際定期便（アジアナ航空）再開

② 国際定期便の利用状況

(ア) ソウル線

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
提供座席数(席)	60,096	57,866	61,096	61,712	81,832	132,498	89,806	0	0	0	29,672
乗 客 数 (人)	36,596	39,642	42,461	42,950	57,812	91,339	50,369	0	0	0	25,055
搭 乗 率	60.90%	68.50%	69.50%	69.60%	70.60%	68.90%	56.10%	0.00%	0.00%	0.00%	84.40%

※ アシアナ航空：平成13年4月24日就航、週3便（水・金・日）運航

※ イースター航空：平成29年12月21日就航、週3便（火・木・土）運航
令和2年3月5日～運休

(イ) 台北線

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
提供座席数(席)	33,180	49,900	48,506	40,818	33,510	46,454	29,256	0	0	0	0
乗 客 数 (人)	24,650	34,761	33,604	26,482	26,897	32,882	20,981	0	0	0	0
搭 乗 率	74.30%	69.70%	69.30%	64.90%	80.30%	70.80%	71.70%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

※ エバー航空：平成20年6月1日就航、平成21年10月1日～運休

※ チャイナエアライン：平成22年1月21日就航、週2便（水・土）運航
平成26年3月31日～週3便（月・水・土）増便
平成28年10月31日～週2便（水・土）に減便
平成30年3月6日～週3便（火・水・土）に増便
平成31年3月30日～週2便（水・土）に減便
令和2年2月26日～運休

(ウ) 香港線

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
提供座席数(席)	304	36,496	36,192	36,148	20,880
乗 客 数 (人)	200	23,885	23,794	26,216	15,975
搭 乗 率	65.80%	65.40%	65.70%	72.50%	76.50%

※ 香港航空：平成27年3月28日就航、週2便（水・土）運航、平成30年10月28日～運休

③ 宮崎空港発着の国際線を利用する場合の補助制度（令和6年度）※令和6年9月現在

(ア) グループ交流支援制度

県内外のグループが海外で交流活動を行う場合、グループの人数に応じて経費の一部を支援。

グループの 人数	県内グループ		県外グループ	
	片道利用	往復利用	片道利用	往復利用
4名～8名	10,000円	20,000円	6,000円	12,000円
9名～13名	20,000円	40,000円	12,000円	24,000円
14名～18名	30,000円	60,000円	18,000円	36,000円
19名～23名	40,000円	80,000円	24,000円	48,000円
24名～28名	50,000円	100,000円	30,000円	60,000円
29名～33名	60,000円	120,000円	36,000円	72,000円
34名～38名	70,000円	140,000円	42,000円	84,000円
39名以上	80,000円	160,000円	48,000円	96,000円

※ 県内グループとは、以下のいずれかの要件を満たす場合とし、それ以外のグループは県外グループとする。

- ・ グループの所在地（グループの事務所等の所在地又は代表者の居住地）が宮崎県内にあること。
- ・ グループの構成員の半数以上の居住地が宮崎県内にあること。

(イ) 県民パスポート取得支援制度

新規にパスポートを取得（更新を含む）した全ての県民を対象に、5年用パスポート取得費用分の全額を支援。

対象者	支援区分	支援額
全県民	12歳未満	6,000円
	12歳以上	11,000円

(ウ) グローバル人材育成（修学旅行等）支援制度

県内の学校などが、修学旅行等の交流事業を実施する場合、児童・生徒の人数に応じて経費の一部を支援。

基本分	児童・生徒50名まで1人あたり1万円、50名を超える分については、1人あたり5千円。上限120万円。
(加算1)	往復利用する場合、1人2千円加算。上限20万円。
(加算2)	ソウル・台北で乗り継ぎ便（同一航空会社に限る。）を利用する場合、1人2千円加算。上限20万円。

(2) 港湾の国際化の現状

港湾は、日本と世界を結ぶ物流の結節点として、産業の振興と国際経済交流に非常に大きな役割を果たしています。

本県では、細島港、油津港が貿易を行うことができる港に指定されています。

① 細島港

細島港は、古くから東九州の海上交通の要衝として重要な役割を果たしてきており、県内随一の工業地帯である日向延岡地区を背後圏とする本県の外貿拠点として発展してきました。

平成5年には、韓国の釜山港との間に外貿コンテナ定期航路が開設され、現在では、釜山に週2便をはじめ、中国に週1便、台湾に週1便、神戸経由のフィーダー航路が週1便開設されています。

令和5年の外航商船船舶入港数は301隻で、鉱産品や林産品など、輸出218千トン、輸入819千トンの外貿貨物が取り扱われています。

細島港は、外貿には欠かせない税関・出入国管理・検疫・植物防疫・動物検疫の機能（C I Q機能）を備えるとともに、外航商船の大型化などに対応した水深13m岸壁を含む大型外貿埠頭が整備されています。

② 油津港

油津港は、古くから天然の良港として知られており、飼肥杉の移出や、王子製紙日南工場の原材料及び製品の輸出入など、県南の物流拠点としての役割を果たしています。

現在、神戸経由の外貿コンテナ定期航路が週1便開設されています。

令和5年の外航商船船舶入港数は47隻で、林産品など輸出35千トン、輸入570千トンの外貿貨物が取り扱われています。

油津港は、税関・出入国管理に加え、平成9年から無線検疫対象港に、平成12年4月1日から植物検疫の指定港に指定され、C I Q機能が向上するとともに、物流機能拡充に対応した水深12m岸壁を含む東地区等の整備がされています。

また、平成29年度に貨物船対応の水深12m岸壁の係留施設を改良し、22万トン級大型クルーズ船の入港が可能となりました。さらに、令和6年3月には初めてファーストポートとして外国クルーズ船を受入れました。

※ 港湾にかかるC I Q関係官公署

港湾名	官 公 署 名	所 在 地	連 絡 先
細島港	門司税関細島税関支署(財務省)	日向市竹島町1 細島港湾合同庁舎	0982-56-1253
	福岡出入国在留管理局宮崎出張所(法務省)	宮崎市別府町1-1 宮崎法務総合庁舎2階	0985-31-3580
	福岡検疫所細島出張所(厚生労働省)	日向市竹島町1 細島港湾合同庁舎	0985-63-4177
	門司植物防疫所鹿児島支所細島出張所(農林水産省)	日向市竹島町1 細島港湾合同庁舎	0982-53-1339
	動物検疫所門司支所鹿児島空港出張所(農林水産省)	鹿児島県霧島市隼人町嘉例川字請口4498-2	0995-43-9061
油津港	門司税関細島税関支署油津出張所(財務省)	日南市油津4-12-1 油津港湾合同庁舎	0987-22-2879
	福岡出入国在留管理局宮崎出張所(法務省)	宮崎市別府町1-1 宮崎法務総合庁舎2階	0985-31-3580
	福岡検疫所志布志出張所(厚生労働省)	鹿児島県志布志市志布志町志布志3259	099-222-1473
	門司植物防疫所鹿児島支所志布志出張所(農林水産省)	志布志港湾合同庁舎	099-472-2491

◎ 外航商船入港船舶数の推移

(単位：隻、%)

港 湾 名	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
細島港	336	96.6	391	116.4	350	89.5	247	70.6	301	121.9
油津港	40	95.2	37	92.5	46	124.3	38	82.6	47	123.7
合 計	376	96.4	428	113.8	396	92.5	285	72.0	348	122.1

(宮崎県港湾課調)

◎ 外貿貨物の取扱状況の推移

(単位：千トン)

港	区 分	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
細 島 港	輸 出	188	252	227	169	218
	農水産品	2	4	3	3	3
	林産品	78	115	123	83	94
	鉱産品	-	4	-	-	33
	金属機械工業品	21	46	20	19	15
	化学工業品	57	60	58	41	47
	軽工業品	24	18	21	21	22
	雑工業品	3	1	1	1	3
	特殊品	3	5	1	2	1
	輸 入	1,500	1,459	1,491	1,356	819
	農水産品	31	28	28	26	21
	林産品	4	6	2	2	0
	鉱産品	1,359	1,371	1,394	1,252	726
	金属機械工業品	9	1	4	2	2
	化学工業品	26	21	19	18	17
	軽工業品	56	22	29	42	45
	雑工業品	2	3	2	3	4
	特殊品	14	6	13	11	3
	計	1,688	1,711	1,718	1,525	1,037
油 津 港	輸 出	24	37	52	90	35
	林産品	23	37	50	90	35
	鉱産品	-	-	-	-	-
	金属機械工業品	-	-	-	-	-
	化学工業品	-	-	-	-	-
	軽工業品	1	-	2	-	-
	雑工業品	-	-	-	-	-
	特殊品	-	-	-	-	-
	輸 入	572	425	588	596	570
	農水産品	-	-	-	-	-
	林産品	572	425	588	596	570
	鉱産品	-	-	-	-	-
	金属機械工業品	-	-	-	-	-
	化学工業品	-	-	-	-	-
	軽工業品	-	-	-	-	-
	雑工業品	-	-	-	-	-
	特殊品	-	-	-	-	-
	計	596	461	640	686	604

※端数処理のため、内訳の和は必ずしも合計と一致しない

(宮崎県港湾課調)

◎ 国際海上コンテナ取扱数量の推移

(単位：T E U、%)

港 名	区 分	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年	
			前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
細 島 港	輸 出	12,326	98.9	12,758	103.5	11,226	88.0	10,289	91.7	11,085	107.7
	輸 入	9,085	104.7	7,582	83.5	7,049	93.0	6,405	90.9	5,974	93.3
	合 計	21,411	101.3	20,340	95.0	18,275	89.8	16,694	91.3	17,059	102.2
油 津 港	輸 出	436	80.1	567	130.0	1872	330.2	1,590	84.9	960	60.4
	輸 入	309	105.8	210	68.0	262	124.8	266	101.5	231	86.8
	合 計	745	89.1	777	104.3	2,134	274.6	1,856	87.0	1,191	64.2

(注1) 空コンテナを除く

(注2) 神戸経由の内航フィーダーを含む

(注3) T E U=Twenty-foot Equivalent Unit 20 フィート コンテナ換算のコンテナ取扱個数の単位

(注4) 令和5年分は速報値

(宮崎県港湾課調)

【連絡先】 宮崎県港湾課

TEL (0985)26-7189